



忘れることができないでいます。

テレビでは敏雄と四人の中学生を前にして速記の授業をしているところが写るのですが、実演は敏雄にやらせたのです。実演は私の話を黒板に速記させるのですが、前もって敏雄と打ち合わせているなどと思われてはいけなないので、実際に敏雄が速記の実力を持っているということを証明するため、基本文字のカードを読ませることにしたのです。基本文字のカードをくってこれは何の字か、これは何の字かといって読ませると、なるほど速記の基本文字をよく知っているということがわかるのです。それでそれをやった後、いよいよ私が話をするのを黒板にさっと書き取らせたので、皆びっくりされたのです。子供が話を黒板にすらすら速記してみせたので皆びっくりされたのです。それから全員、速記体操（基本文字を書く体操）などもやらせたので非常な好評を博したものでした。そのころはテレビが今日のように普及していないので、京都ではよそからテレビを借りて来て、両洋中学で大勢集まって見たのでした。その後、京都に帰り朱雀第四小学校で全校生に敏雄の実演を見せて講演したことがありました。

### 三、長崎放送

郷里長崎放送局から朝のインタビューで話したことがあります。それを長崎県小値賀におられる親友藤松義央さんが聞かれてびっくりされたことがあります。私が長崎に来ていることをお知らせしていなかつ